

光学材料、電子材料、触媒、医療の分野で、機能性材料の微粒子を製造する技術のニーズが高まっている。

粒径、粒度分布、組成が制御された微粒子が合成できれば、現在よりも高い機能を有する材料の発現が見込まれる。

高い機能性を有する微粒子を合成し、応用できれば、現在よりも高い効率の構造体(デバイス)の開発が見込まれる。

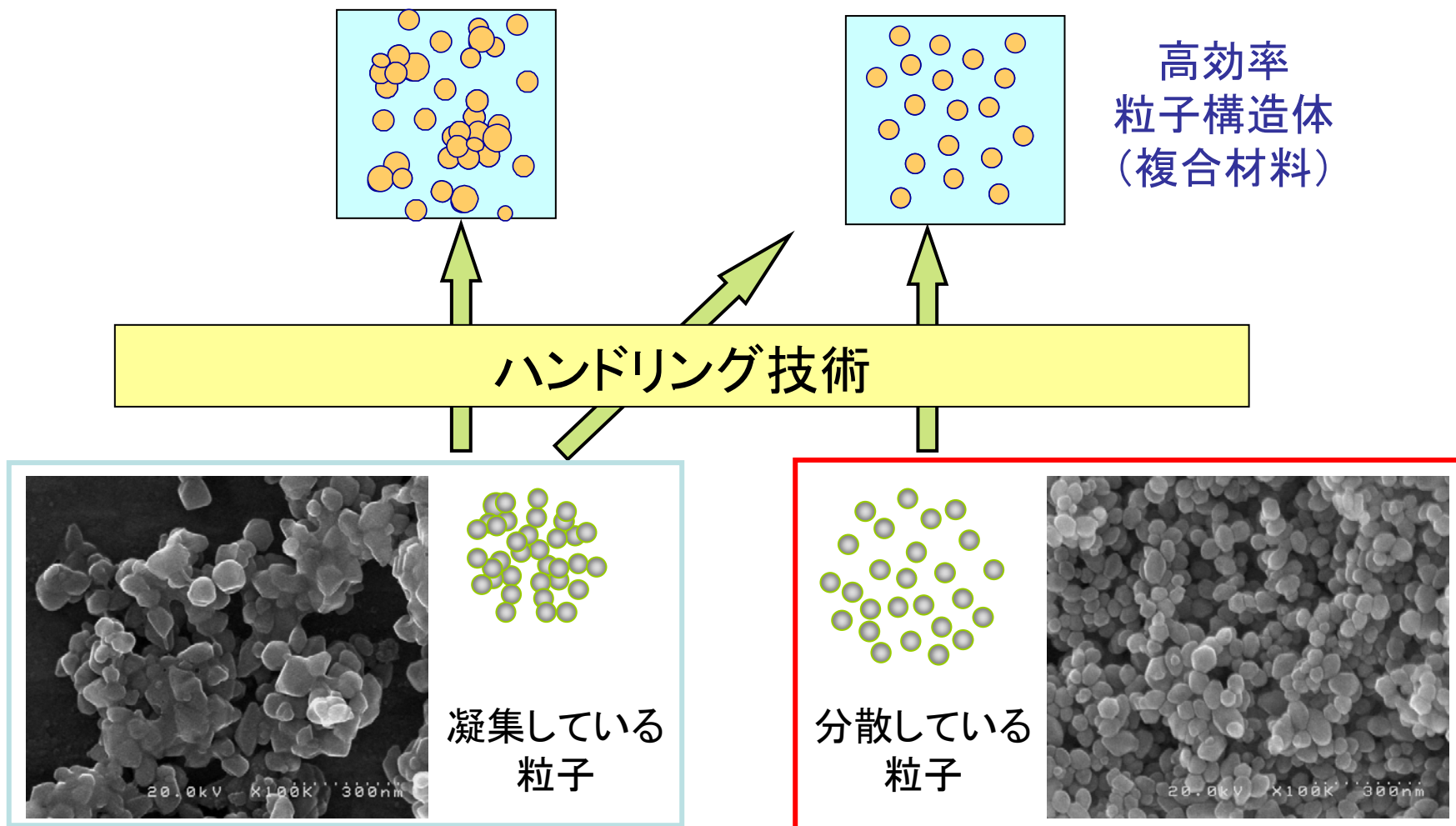
合成プロセスの開発

粒子材料の高機能化

高効率粒子構造体(複合材料)の合成

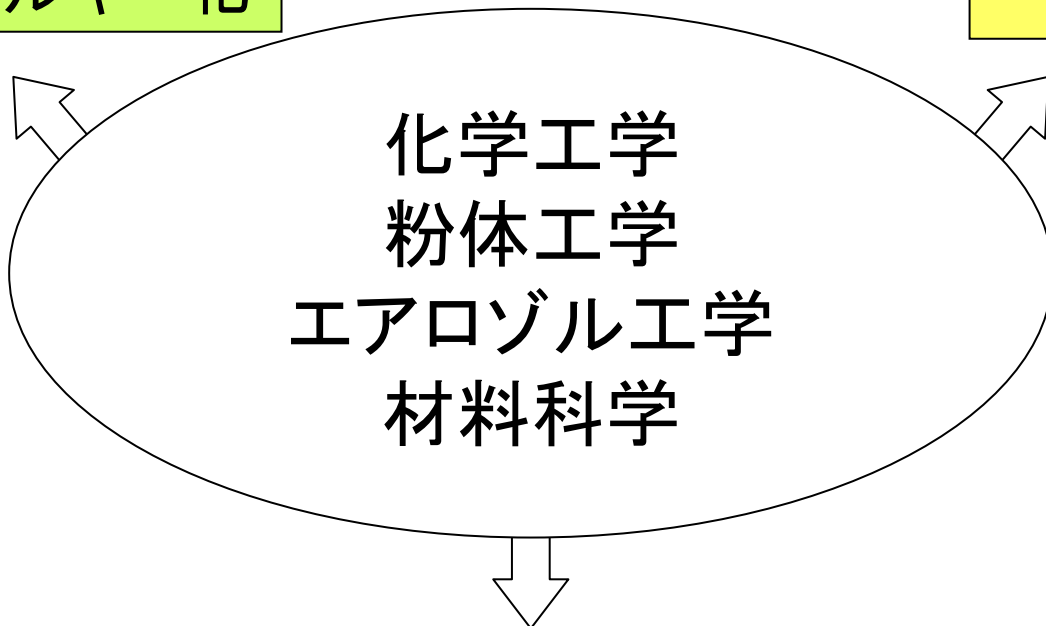
ハンドリング技術

微粒子は凝集しやすい性質を持っており、  
高機能性を保つためには、  
凝集・分散を制御できるハンドリング技術が重要

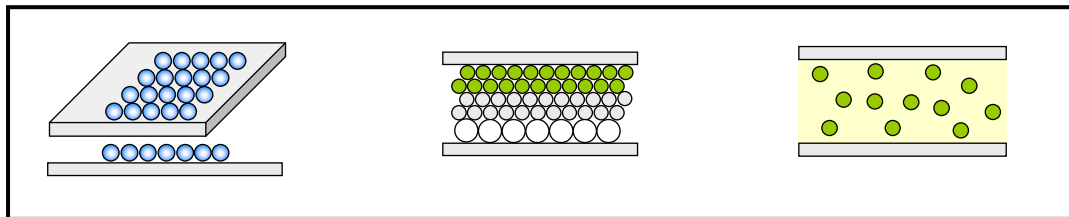


合成プロセスの  
高効率化・省エネルギー化

省資源・環境への  
配慮



微粒子のハンドリング技術  
(粒子の分散制御と粒子構造体の作製技術)  
を含んだ新たなプロセスの開発



高効率複合材料